

事業所名

さくらプラスみはた

児童発達支援 支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

20 日

法人（事業所）理念		あふれんばかりの想いで明日への扉を開きたい！						
支援方針		就労、自立に必要なスキルを身に付けるため、年齢から逆算した支援を提供する。 1人1人の強みを追求し「やってみる」という意欲から様々な体験、経験を提供し「できる」という自信に繋がっていきます。						
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<p>○心身の健康状態の把握：常なる観察を行う（体調面、気持ちや気分の把握）また意思表示が困難である子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。</p> <p>○構造化等により生活環境を整える：時間に応じた行動の切り替えができるよう時間割の掲示、前確認、文字やイラスト等を使用し視覚情報の提示。</p> <p>○基本的生活スキルの獲得：「身の回りの整理整頓」「手洗い」「衣類の着脱」「排泄」等の獲得、生活リズムの形成</p>						
	運動・感覚	<p>○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上：体操、サーキット、バランスボールを使用したメニューなどの体幹運動</p> <p>○身体の移動能力の向上：縄跳び、9マス鬼ごっこ、サーキット等両足でジャンプする遊び</p> <p>○保有する感覚の活用：動物歩き、ぶら下がり、ボール遊び、トランポリン、スイング、独自のスポーツテストにて身体の感覚を活用できるよう活動提供を行う 水片栗粉、スライム、粘土など感触遊びを通して感覚を形成していく。</p> <p>○感覚の特性への対応：児に合わせた感覚過敏、鈍磨に対する対応、理解した上での配慮、環境設定を行う。</p>						
	認知・行動	<p>○認知の特性についての理解と対応：環境、小集団の空間設定、適切な行動の形成。</p> <p>○空間や場面に対する適切な行動の習得：タイムスケジュールの掲示、事前確認等で予定を伝え、行動へと繋げる。</p> <p>○行動障害への予防及び対応等：ルール遊び、買い物や外出先でのルールを習得できるよう経験を積み重ねる。四季に対する興味、感性の形成として季節の散策、創作活動。</p> <p>○認知の偏りへの支援：数、大小、色、形、仲間分けなど個人のニーズや偏りに対してプリントや教材、粘土、感触遊び、知育玩具等を使って支援する。</p>						
	言語 コミュニケーション	<p>○児に合わせた言葉選び、ジャスチャー、イラスト、文字、手順表を用いて相互理解を図る。</p> <p>○児の表情や発信、気持ちの汲み取り、共有や共感することでコミュニケーションを図っていく。</p> <p>○絵本、教材の読み書き、タブレット教材による言葉遊びや場面对応力向上</p>						
	人間関係 社会性	<p>○他者との関わり（人間関係）の形成：チームで行うレクリエーションやクッキングなどの活動提供を行い、共通話題が行える空間の提供。形成段階に応じた職員の介入、見守りを行う</p> <p>○遊びを通じた社会性の発達：ルールのある遊びを提供し、他児との距離感や順番を待つ大切さを伝えていきます。クッキングやイベントなどで役割のある活動の提供</p> <p>○仲間づくりと集団への参加：様々な体験や活動、交流する時間を提供し集団への参加へ繋げる。</p>						
家族支援		困りごとやニーズに関する相談援助			移行支援		進学する学校や事業所との情報共有。 児童の特性を共有し、移行に関する提案、相談を行う。	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・併用事業所、相談事業所との情報交換、連携 ・相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所との支援に関わる情報交換 ・地区の消防との連携 ・高校生、大学生の職場体験受け入れ 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・法人、事業所に係わる資格取得のため研修への派遣 ・専門的な研修、課題研修への派遣 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・消防署見学による地域を守る活動について学んだり、地震や火事の啓発。 ・保護者を招待した夏祭りイベント（体験コーナー、フリーマーケット、飲食など屋台の設置） 						